

施設別5年生存率集計について

集計対象施設	生存状況把握割合が90%以上の施設 【 全国447施設（内富山県6施設） 】
集計対象期間	2014年1月1日～2015年12月31日に診断された症例
集計対象症例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 胃がん、大腸がん、肝細胞癌がん、非小細胞肺癌ん、女性乳がん ・ 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療症例（院内がん登録症例区分2,3） ・ 診断時の年齢が0から99歳まで
集計方法	<p>実測生存率をがん別及びUICC TNM分類総合ステージ別に推定</p> <p>※総合ステージが0期は集計対象から除外</p> <p>※「実測生存率」…死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生存率は生存状況把握割合、対象集団の基礎疾患の頻度、年齢分布などの偏りなど様々な要因が影響するため、単純に本集計結果をもって当該施設のがん医療の優劣の評価にはつながらないことに留意する必要がある。 ・ 生存率の推定値は、対象症例数、死亡者数の件数に依存する。一般に対象例数が30例未満場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、30例未満の場合は公表しない。また集計値が10未満の場合、個人が特定される可能性の高いことから、1-3件、4-6件、7-9件で表示した。

参考資料：

国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター
『院内がん登録2014-2015年5年生存率集計』 『付表3. 施設別2014-2015年5年生存率集計』